

幕末から明治の鉄道史と 横須賀・神奈川

【講師】 老川 慶喜氏 立教大学名誉教授

1854年にペリーが持参した蒸気機関車の模型が鉄道時代の幕開けとなりました。そして、小栗上野介忠順は横須賀製鉄所だけでなく鉄道整備にも尽力しました。1889年には、東海道線と接続する横須賀線が開通し、軍需物資の輸送を強化し地域の発展に貢献しました。

日時 令和7年6月7日（土）
14時30分～16時00分

入場自由・無料
事前申込不要
(先着300名)

会場 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

横須賀芸術劇場小劇場（横須賀市本町3-27京急汐入駅徒歩1分、JR横須賀駅徒歩8分）

※13時30分～14時15分頃まで、同会場にて開国史研究会総会（会員及び関係者のみ）を開催しております。会員以外の方は、総会終了まで会場への入場をお待ちいただきますのでご了承下さい。